

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月25日			
平成15年度	事業コード	24223	電話	042-769-8256
担当部課名	建築部	住宅	課	住宅企画 係
事務事業名	借上型市営住宅整備事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	美しいまちなみと良好な居住環境を創造します	事業開始年度
基本施策名	第2節	良好な住まいづくりの推進	5年度
施策名	第2施策	良質な住宅の供給（高齢社会に対応した住宅の供給促進）	

2 実施根拠及び関連法令等

公営住宅法	相模原市市営住宅条例	相模原市借上型市営住宅供給事業実施要綱
-------	------------	---------------------

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

国庫補助事業

6 受益者負担

あり

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
住宅基本計画に基づき、住宅に困窮する高齢者世帯の居住の安定を図るため、民間活力を導入し、快適で良好な賃貸住宅(あじさい住宅)の供給を行うため、建主に対し建設費の一部を補助する。 入居者の要件 = 65歳以上、市内に1年以上居住、収入が一定額以下等	住宅に困窮する高齢者世帯 対象数 20
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
あじさい住宅相武台の設置に係る補助金等の所要経費 事務作業委託料等 678千円 建設事業補助金 29,208千円(補助対象事業費 36,484千円) ・ 住宅名 あじさい住宅相武台 ・ 構造 鉄筋コンクリート造3階建1棟 ・ 住戸内容 単身者向 15戸 2人世帯向 5戸 計 20戸 ・ 応募倍率 3.4倍	
(4)個別計画の概要	概要
計画名 住宅基本計画	重点事業4 市営住宅の計画的供給 平成22年までに高齢者世帯向住宅(あじさい住宅、シルバーハウジング)を589戸供給することを目標とする。
計画年次 10年度～22年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	住宅供給率	各年度の借上型市営住宅供給戸数の累計 / 589戸 589戸にはシルバーハウジングを含む。	目標値に対する借上型市営住宅(あじさい住宅)の供給状況を表す。	39	42	46		
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	32,887	25,941	29,886	0	0
	人員・時間数	0.3 / 人・年	0.2 / 人・年	0.2 / 人・年		
	人件費	2,517	1,678	1,678		
	その他経費	0	0	0		
	合計	35,404	27,619	31,564	0	0
特定財源	11,132	8,089	11,694			
対象数	69	18	20	0	0	
対象の単位あたり経費	513.1	1,534.4	1,578.2	#DIV/0!	#DIV/0!	

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A：達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
	B：一部達成していない		・活動指標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
	C：達成していない		・事業目標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
		説明	平成14年度までは計画どおりに事業を進めてきたが、厳しい財政事情の中、中期実施計画の中での計画はない。			
(2)必要性 評価 A ▼	A：適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている			
	B：一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している			
	C：適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない			
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 高齢者の居住の安定を図るため、手すり、緊急通報装置、生活相談員の派遣等高齢者の生活特性に配慮した住宅を整備することが必要である。			
(3)有効性 評価 A ▼	A：有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である			
	B：一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている			
	C：有効ではない					
		説明	あじさい住宅相武台の応募倍率は3.4倍であり、市民からの入居希望は多い。			
(4)効率性 評価 B ▼	A：優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている			
	B：一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている			
	C：改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている			
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 市の初期投資費用を少なく抑えることができ、借上げ期間満了後については返却することも、貸主と調整し再契約することもできる。			
(5)公平性 評価 A ▼	A：公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である			
	B：一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である			
	C：公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)			
		説明	入居条件等は法令で定められており、公平である。			
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額				
<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	説明： 厳しい財政事情の中、中期実施計画の中での整備計画はない。	手段	厳しい財政事情の中、中期実施計画の中での整備計画はない。			
		削減額	千円			

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較					
	県下主要都市の市営住宅管理戸数等(平成14年4月1日現在)						
今後の進め方		市名	横浜市	川崎市	相模原市	横須賀市	藤沢市
		世帯数	1,412,547	560,442	243,682	159,594	152,548
		管理戸数	25,985	17,169	1,857	3,997	1,638
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明					
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	厳しい財政事情の中、平成15年度から借上型で予定していた高齢者世帯向け住宅整備は凍結し、直接建設型市営住宅の整備に合わせて供給する。					
<input type="checkbox"/>	廃止						
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済						

12 二次評価コメント

--